カルイ

活躍の場面が広がる樹木粉砕機

農用トラクタ連結タイプも好評

粉砕機のパイオニア㈱カルイ＝山形県山形市鋳物町46－1西部工業団地・☎023（645）5710・高橋和成社長＝は「粉砕から始まるエコロジー」をテーマに、各種用途に応じた多彩な樹木粉砕機を提供している。

チッパーナイフ式で果樹・庭木・雑木・竹を均一に粉砕できる「dra Con（ドラコン）」、スイングハンマー式で釘・ビス付きでも投入でき廃パレット・廃材・枠材の処理に最適な「CHiPSTAR（チップスター）」の定番2シリーズを中心に各地で活躍の場を広げている。

特に人気なのが農用トラクタに連結し、運搬にも便利な「PTO」タイプ。ドラコンシリーズには「PTO－1701N／1200N－1」、チップスターシリーズには「PTO1551H／1200H－1」の計4機種がラインアップされている。

可変式ベースを標準装備したことで直装や格納用には水平置き、オートセット用には傾け置きのどちらにも対応。これにより、トラクタへの装着もJIS1型標準3P直装はもちろんのこと、台座キットを必要とせずにJIS標準オートヒッチ0－I兼用（Sカプラ）、特殊オートヒッチA－I型・II型へのオートヒッチ装着を可能としている。

また最大粉砕可能径もチッパーナイフ式の「PTO－1701N」が170ミリメートル、「同1200N－1」が120ミリメートル、スイングハンマー式の「同1551H」が155ミリメートル、「同1200H－1」が120ミリメートルと従来機と比べて大きく向上している。さらに排出方法も、空気搬送ブロア投射／下部水平排出の切替えが可能となっており、含水率の高い対象物で詰まりやすい物は下部排出によって対応できる。これにより、一部野菜の残渣など従来は難しかった対象物への対応も可能としている。

トラクタ連結タイプ・ドラコンPTO-1701N

コロナ禍により展示会等、樹木粉砕機に触れる機会も減っている中、同社では樹木粉砕機導入を希望する人に向けた「ZOOM実演会」も行っている。テレビ会議などと同様に自宅にいながら同社の樹木粉砕機の実演の様子を見ることや機械の説明を受けることができるほか、実演を見ながらのビデオ通話も可能。質問・回答と言った双方向のやり取りが行えるもの。参加申し込みは①カルイホームページ「粉砕機ドットコム（https://funsaiki.com/zoom）」にアクセス②「ZOOM実演展示会のお申込みはこちら」アイコンをクリック③表示された電話番号に電話するか「メールでお問い合わせ」フォームに必要事項を入力し送信④折り返しカルイ担当者から連絡といった手順で行える。